

1. 職員構成・イベント

年度末時点での体制は、職員6名・医療秘書5名・委託（ニチイ学館）9人工であった。

新型コロナウイルスの影響により、様々な変化に迫られる年となった。最前線で戦う医療スタッフのサポートを行うべく、発熱者や行政PCR検査の誘導、入館者の体温・症状チェック、診療材料の迅速な確保、臨時的な診療報酬の算定など、迅速かつ柔軟な対応が求められた。

2. 外来の動き

常勤医11名、非常勤医の体制は前年度と変更はない。

患者数は延べ患者数が3,029名減少（▲7.9%）し、平均患者数は144.1名（前年比12名減）となった。また新患者数は412名減少（▲11.8%）・紹介数は299名減少（▲16.8%）となった。救急患者数は780名減少（▲21.4%）した。いずれも「不要不急の外出機会の減少」や「手洗い・マスク着用による感染症全般の患者減少」による影響が結果として現れている。

3. 病棟の動き

4月中旬から1病棟12床を新型コロナウイルスの専用病棟として確保し、第3波の年末から1月にかけて多くの入院受入を行った。

病床利用率は、一般83.8%（前年度85.2）、地域包括66.9%（前年度86.7）、回復期90.6%（前年度95.5）であった。

「急性期から亜急性期・回復期へのシフト」、「高齢化による医療需要の変化」への対応として、病床再編を2021年4月1日に計画している。

変更後：一般27床、地域包括ケア61床、回復期リハビリ40床

4. 施設基準関係と診療報酬改定対応

外来：薬価引き下げやジェネリックへの切替の影響により、外来収入減少

入院：看護補助体制加算・認知症ケア加算の増点、せん妄ハイリスクケア加算の新設、看護必要度の基準値チェック、病床再編計画を実施。

救急搬送看護体制加算2	2018.4.1		
ニコチン依存症管理料	2007.4.1		
がん治療連携指導料	2010.4.1	2015.11.1	
薬剤管理指導料	2003.11.1		
検査・画像情報提供加算及び 電子的診療情報評価料	2020.4.1		
在宅療養支援病院3	2015.3.1		
在宅時医学総合管理料 又は特定施設入居時等医学総合管理料	2015.3.1		
在宅がん医療総合診療料	2015.3.1		
在宅患者訪問看護・指導料 及び同一建物居住者訪問看護・指導料	2016.12.1		
検体検査管理加算（Ⅰ）	2003.3.1	2008.4.1	
検体検査管理加算（Ⅱ）	2008.4.1		
時間内歩行試験	2012.4.1		
ヘッドアップティルト試験	2012.4.1		
遠隔画像診断	2004.4.1		
CT撮影及びMRI撮影	2012.4.1	2012.10.1	
外来化学療法加算2	2014.4.1		
無菌製剤処理料	2011.12.1		
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	2008.4.1	2012.4.1	初期加算
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	2010.4.1	2012.4.1	初期加算
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	2009.4.1	2012.4.1	初期加算
がん患者リハビリテーション料	2014.5.1		
集団コミュニケーション療法料	2008.4.1		
ペースメーカー移植術 及びペースメーカー交換術	2005.8.1		
大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	2004.2.1		
胃瘻造設術	2014.4.1		
人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算	2017.5.1		
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	2014.4.1		
麻酔管理料（Ⅰ）	2012.6.1		
保険医療機関間の連携による病理診断	2012.4.1		

施設基準

項目（2021年3月末時点）	開始	更新	備考
機能強化加算（初診料）	2018.4.1		
オンライン診療料	2020.12.1		
急性期一般入院料4	2003.3.1	2019.4.1	
診療録管理体制加算1	2014.4.1		
医師事務作業補助体制加算1（25対1）	2014.4.1	2021.1.1	1月 30対1→25対1
急性期看護補助体制加算 （25対1）	2010.4.1	2016.6.1	夜間急性期看護補助 体制加算（100対1）、 夜間看護体制加算
感染防止対策加算2	2012.4.1		
患者サポート体制充実加算	2012.6.1		
データ提出加算2	2015.1.1		
入退院支援加算1	2016.10.1	2018.4.1	入院時支援加算
認知症ケア加算2	2016.7.1		
せん妄ハイリスク患者ケア加算	2020.4.1		
回復期リハビリテーション病棟入院料1	2012.10.1	2018.4.1	
地域包括ケア入院医療管理料1	2014.5.1	2019.4.1	看護職員配置加算、 看護補助者配置加算 看護職員夜間配置加算
入院時食事療養（Ⅰ）	2003.3.1		
がん性疼痛緩和指導管理料	2010.4.1		
がん患者指導管理料Ⅰ	2014.4.1		
がん患者指導管理料Ⅱ	2014.4.1		

医業収益の内容

区分	外来（千円）			区分	外来（千円）		
	当年	前年	増減率		当年	前年	増減率
初診料	13,628	16,042	-15%	患者数	35,301	38,330	-8%
再診料	34,024	36,682	-7%	診療日数	245	245	0%
指導管理料	22,262	22,538	-1%	日平均患者数	144.1	156.4	-8%
診療情報提供料	3,943	3,874	2%	新患者数	3,094	3,506	-12%
在宅医療料	26,902	35,222	-24%	紹介件数	1,489	1,785	-17%
小計	100,759	114,360	-12%	時間外患者数	618	813	-24%
検査料	143,540	164,460	-13%	深夜患者数	228	346	-34%
画像診断料	79,859	87,281	-9%	休日患者数	446	674	-34%
投薬料	352,531	383,597	-8%	患者1名1日当	20,640	21,093	-2%
注射料	38,161	43,164	-12%				
リハビリテーション	5,366	4,926	9%				
処置料	3,177	3,386	-6%				
手術料	4,959	7,047	-30%				
麻酔料	260	270	-4%				
小計	627,852	694,131	-10%				
保険内報酬計	728,611	808,490	-10%				
文書料	4,049	4,943	-18%				
その他	1,885	1,591	18%				
合計	734,545	815,024	-10%				

◆情報システム室

室長 垂水治樹 兼務

年度末時点での体制は医事室長および医事室員2名が兼務、およびシステム室専従1名の4名で対応している。主に「障害対応」「購入・修理」「保守管理」「予算管理」「規程整備」「セキュリティ対策」などを担い、定期的なミーティングで課題進捗などを確認している。

2020年度は、新型コロナウイルスの対応に必要なシステム整備を中心に活動した。

1. 取組実績（計画分）

- ・ RPA（保険証画像登録、読影完了通知、他科紹介通知、病床利用率揭示等）
- ・ 遠隔読影システム
- ・ グループウェアバージョンアップ（チャット機能追加）
- ・ 看護部用eラーニングシステム等

2. 取組実績（コロナ関連）

- ・ オンライン面会用タブレット
- ・ リモートワーク用タブレット
- ・ サーモグラフィカメラ・自動検温器
- ・ Web会議・研修サポート
- ・ 職員用健康チェックツール等

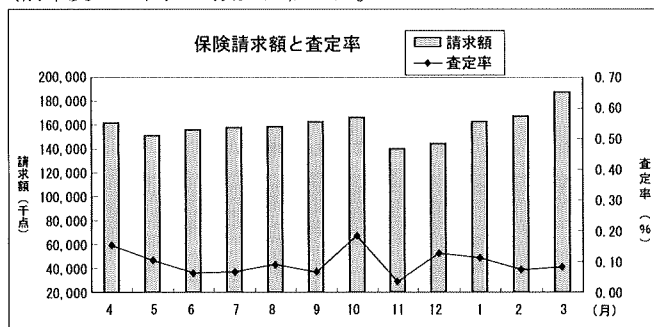
区分	入院（千円）			区分	入院（千円）		
	当年	前年	増減率		当年	前年	増減率
初診料	1,595	1,628	-2%	患者数	37,377	41,553	-10%
再診料	441	443	0%	入院数	1,199	1,358	-12%
入院料	237,315	239,018	-1%	退院数	1,217	1,354	-10%
外泊	20	137	-85%	転入	474	762	-38%
短期滞在手術等基本料	10,645	15,452	-31%	転出	474	762	-38%
入院基本料加算	145,131	110,246	32%	平均在院日数	30.9	30.6	1%
回復期	287,152	298,871	-4%	在院患者数/日	102.4	113.5	-10%
地域包括ケア	298,338	389,543	-23%	患者1名1日当	37,815	36,247	4%
食事療養費	69,892	75,539	-7%	病床利用率	79.8%	88.9%	-10%
指導管理料	3,997	3,056	31%				
診療情報提供料	580	520	11%				
在宅医療料	1,268	2,127	-40%				
小計	1,056,374	1,136,579	-7%				
検査料	35,801	35,541	1%				
画像診断料	18,225	21,255	-14%				
投薬料	11,604	12,305	-6%				
注射料	16,249	24,276	-33%				
リハビリテーション	274,563	271,243	1%				
処置料	6,368	9,111	-30%				
手術料	35,154	39,113	-10%				
麻酔料	5,084	5,824	-13%				
小計	403,048	418,668	-4%				
保険内報酬計	1,459,421	1,555,247	-6%				
室料差額	9,526	10,812	-12%				
文書料	813	785	4%				
その他	2,018	309	552%				
合計	1,471,778	1,567,154	-6%				

減収の要因

外来：「患者数減（特に救急）」「薬価改定による減」
入院：「患者数減」「手術件数減」

5. 保険請求と査定

保険請求額「社保・国保」の全体は前年比で約186,190千円の減収となった。査定率（査定金額／請求金額）は、年平均0.10%（前年度0.11%）で減少に転じた。



6. 「医療機器・診療材料」購買

医事業務との兼任（2名）で従事した。

医療機器

更新&新規導入

MRI、透視装置、一般撮影装置、回診用X線撮影装置
安全キャビネット、リアルタイム濁度測定装置、空間除菌脱臭機等

購入検討委員会での予算執行状況報告と次年度予算作成 診療材料

- ・ 新規材料購入（材料選定、院内調整、価格交渉・購入）
- ・ 管理体制強化（期限管理構築、備蓄品保管場所の確保、定数見直し）
- ・ 新型コロナウイルス対応を目的とした臨時購入